



復活!  
トミーカイラ

# Tommy Kaira Returns

公認コンプリートカーで  
名を馳せたトミーカイラ  
2009年、新たな魂を得て  
生まれ変わって登場。  
再生への道筋を取材した。

Photo&Text: Satoshi Hagino

## 時代を作り、時代にのまれた 老舗ブランドの復活計画

30〜40代のチューニングカー所有経験者にとつて、トミーカイラは特別な存在だ。厳しい車検制度ゆえ、チューニング違法改造とされてきた時代。そこに「公認チューニングカー」を誕生させ、チューニングの合法化を実現したブランドだからだ。ヨーロッパで製品車に手を加え、高性能、高級化してリリースする「カロッツェリア（例えばメルセデスに対するAMGのような存在）」の手法で、日本のチューニングの流れを変えた。日本車の歴史に残るブランドの一つだ。

コンプリートカー開発で成功したトミーカイラは目標としていた自動車生産に乗り出し、1995年に軽量スポーツカー「ZZ」をリリース。しかしその後、法律が二転三転したり、トミーカイラ自体の体制の変化もあって、時の流れに乗ることなく翻弄されてしまう。

パーツの流通でトミーカイラと関係のあった樋江井氏は、混沌としているブランドを立て直し、合法チューニングの先駆者たる原点に立ち返って再生させることを決め活動を開始した。2009年初頭のことだった。

樋江井氏はパーツを手がける部署を自社内の「トミーカイラ事業部」として立ち上げ事業をスタートさせた。トミーカイラの持っている高い技術はそのまま継承。それをさらに活かせるように、こん

トミーカイラ代表  
樋江井尊吉氏



パーツの製造や物流の面でチューニングの世界を支えてきた樋江井氏。クルマは乗ること、いじることに好きで、かつてはチューニングカーで走っていた経験を持つ。社屋には秘密のミニカーコレクションルームが。

がらがっていたブランドの経営に関わる部分を整理整頓。開発から販売までクリアな体制を構築した。復活を果たしたトミーカイラは、創業時から持っていたポリシーをしっかりと受け継いでいる。「最少の変更で最大の効果を」という考えのもと、速さだけのチューニングや、見た目だけのドレスアップではない、クルマを使う全ての場面で満足できる完成度を実現できる一台を作る事がそのスタイルだ。コンプリートカーはもちろん、その高性能を堪能できるパーツの販売にも乗り出している。

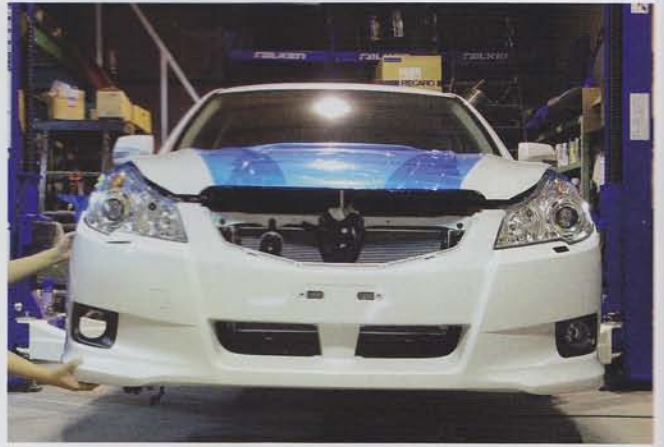
その開発の様子はオフィシャルWEBサイトやブログ上で常に公開されていて、新たなトミーカイラがユーザーに開かれた存在であることがわかる。樋江井氏はブランドの運営からパーツ構成、デザインに関するまで、有能なスタッフと共に自ら魂を込めて取り組み、トミーカイラのさらなる発展のため努力を惜しまず活動を続けている。ブランド再生の第1段階として日産R35GT-R、新型プリウス、そして新型レガシィをベースとして、パーツの開発をスタート。中でも最初に登場した新型プリウス用エアロパーツや4本出しマフラーは、個性を發揮しにくいハイブリッドカー向けのパーツということ、高い注目を集めている。

今後は直営ショップを設け、現在京都に分散している機能を一元化し、さらに充実を行っていくという。新しいトミーカイラの動きから目が離せそうにない。

京都のファクトリーにてバラされ、あらゆるところが探寸される。トミーカイラの製品精度の高さは、こうした地道な開発にも支えられている。



長年、水平対向エンジンをチューンしてきたトミーカイラが、スポーツコンフォートというコンセプト実現のため、どんなメニューを用意してくるのか気になるところだ。



排気系や補器類など、開発に当たってチューニングの可能性が探られる。熟練の「匠」による新型レガシィの研究のうち、最も効果的なパーツの開発が行われるという。

## オリジナルパーツも 続々登場予定!!



ドライカーボンを使った「ヘビーベビー」というシフトノブを開発中。また、青いアルミのシフトノブは現在発売中（8400円税込み）。人気の衰えない逸品だ。



ボンネットを開けた時に、ちょっと優越感に浸れそうなカーボン製のグリップを持つオイルレベルゲージも企画中。こだわりのあるレガシィオーナーにピッタリだ。



「ステアリングスポークのチープ感が苦手」という樋江氏によって作られたリアルカーボンのステアリングパーツ。取り付けるとステアリングの雰囲気は一変する。

コンプリートカーにはなかなか手が出ないが、インテリアなどのパーツで手軽にトミーカイラの雰囲気を楽しみたい。そんな要望にも対応できるよう、小粒ながらもピリリと良く効くパーツを開発中だ。装着するとコクピットは上質かつスポーティな雰囲気へと変化する。また、写真以外にもエンジンカバーなどボンネット内を飾るパーツも企画中とのこと。カーボンを使ったさまざまなパーツの展開に期待大だ。

# 伝統と新たな魂の融合で 復活したトミーカイラが 新型レガシィを進化させる

## 新型レガシィ用の開発は 現在順調に進行中

新生トミーカイラの開発ポリシーは、「スポーツコンフォート」。走る面での充実はもちろん、快適さを失わないバランスのとれたチューニングがその心情となっている。安全で速く、壊れない。という創業から手がけてきたチューニングコンプリート・カーと同じ考えだ。速さを追求するためには何かを犠牲にしなくてはならない。それでは、乗っている時に我慢する必要が出てくる。トミーカイラが行おうとしている「スポーツコンフォート」という考え方のチューニングは、速さだけの追求ではなく、クルマとしての完成度の高さを追求したモノ。考え抜かれたパーツを用いて、熟練メカニックによるセッティングを加え、全てのシチュエーションでクルマを楽しめる、独創的で魅力あるコンプリートカー＆パーツ制作を行っていくという。

現在開発が進んでいる新型レガシィ用のパーツは、リップスポイラーやエアロバンパー、室内やエンジンルームを彩るアイテムなど多岐に及ぶ。

特にエアロパーツは、トミーカイラ歴代のコンプリートカーと同じデザイナー

を起用することで「らしさ」を残しつつも、樋江氏によって新たな風を送り込まれたデザインになる予定だ。これまでのデザインをそのままスライドするのでなく、新型レガシィのフォルムに合わせて、樋江氏の考える新しいラインとすることで、新生ブランドのイメージを表現している。

さらにリアルカーボンを使ったパーツの開発も進んでいる。多くのパーツはドライカーボン（カーボンシートを焼成して仕上げたパーツ。レースマシン等と同じ）仕様。本物にしか出せない美しさが新型レガシィのコクピットやエンジンルームを彩るだろう。

パワー、足回りといった部分にも順次手が入っていく計画で、2010年1月のオートサロンでのお披露目に向けて急ピッチで開発が行われている。

トミーカイラといえば、カメラをモチーフとしたキャラクタマークが知られている。新生トミーカイラでは新たなキャラクタマークが採用されるのだが、新型レガシィのコンプリートカーにどちらが「載る」かはまだ未定とのこと。マークの行方を含めて、新しいトミーカイラの考えが具現化された新型レガシィコンプリートカーの登場が待ち遠しい。



スタッフの加藤さんとデザインについての会議を行う樋江氏。新生トミーカイラは樋江氏による舵取りのもと、有能なスタッフの活躍で注目のチューニングパーツメーカーとして再生しつつある。

# Tommykaira



for BR/BM

- Front Lip Spoiler
- Front Bumper
- Front Grille
- Side Skirt
- Scaff Plate
- New Emblem
- Rear Half Spoiler
- Rear Bumper Spoiler
- Trunk Spoiler(BM)
- Roof Spoiler(BR)
- Exhaust System
- Suspension Kit
- Low Down Spring



COMING SOON!

開発状況は  
blogにて公開中!

※イラストはイメージのため、実際の商品と異なる場合がございます。※開発中の商品は全て発売予定となります。



for BP/BL, BH/BE



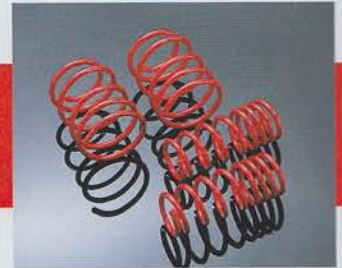
CHECK IT!

Official Web Shopping Siteにて  
キャンペーン展開中!

- Front Bumper Spoiler with Fog Lamp [BP/BL(A,B,C)] ¥118,650
- Front Bumper Spoiler with Fog Lamp [BP/BL(D,E)] ¥118,650
- Front Bumper Spoiler [BH/BE(A,B,C)] ¥123,900
- Front Bumper Spoiler [BH/BE(D)] ¥123,900
- Rear Under Garnish (FRP)[BP] ¥20,475
- Rear Under Garnish (WET CARBON)[BP] ¥31,500
- Rear Bumper Spoiler (BH) ¥100,800
- Carbon Side Diffuser (BP/BL, BH/BE) ¥42,000
- Carbon Rear Diffuser (BE) ¥52,500



Exhaust System(BP) ¥260,400  
Exhaust System Ver.2(BP/BL)  
開発中



Sports Coil Spring(BP/BL)  
¥37,800



Front Brake Pad(BH/BE) ¥12,600  
Rear Brake Pad(BH/BE) ¥12,600  
4/6 Pod Brake Pad(BP/BL) ¥31,500